

# ハピネス



学校教育目標: 未来をになう人間性豊かでたくましい児童の育成

学校経営方針: 一人ひとりが輝く 子どもが主役の笑顔あふれる学校

山鹿市立三玉小学校

児童数: 152人

文責: 校長 北山 紗

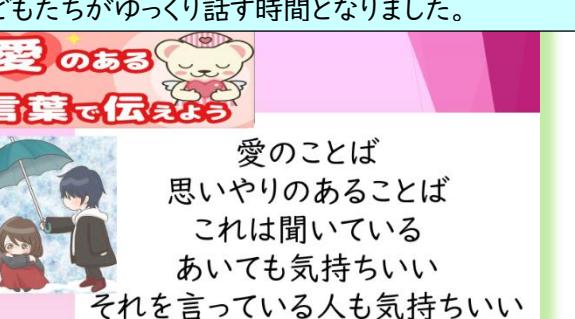
令和7年6月20日(第6号)

## 6月の全校集会 ~自分の心とのつきあい方~

6月5日(木)、全校集会を行いました。話題は、「自分の心とのつきあい方」です。この週は、天気がコロコロ変わりました。その天気の話から、次のような話をしました。『天気は私たち人間にはどうすることもできません。人間が天気を自在に変えることは、できません。同じように、人の心も、天気のように変わっていきます。これも自在に変えることはできないでしょう。とても気分のいい、「よし。今日も頑張るぞ。」と思える晴れの日もあれば、もやもやして気分がよくないもりの日もあるでしょう。心が大泣きする雨の日もあれば、ぶんぶんと心が怒る雷の日もあるでしょう。人の気持ちには、実に多くの種類があります。こればかりは、どうすることもできません。でも、何もできないわけではない、と校長先生は考えています。心がくもりや雨あめの日などのときに、相談しやすい誰かにお話しすることをおすすめします。おうちの方や友達、先生など、誰か一人でもいいです。お話できると、心は晴れます。誰にも相談できなくて、つらくなる、という日もあるかもしれません。そんなときに、先生方がそばにいます。先生方は、児童のみなさんの心の動きに気付くプロです。「どうしたの。」と声こえをかけてもらったらチャンスです。聞いてほしいことをお話ししましょう。今週の空は、晴れたり、くもったり、雨が降ったりと、ころころと変わりました。人の心も同じかな、と校長先生は考えます。雨に打たれている友達を見かけたら、そっと傘を開いて差し出せる人になってほしい。やさしい三玉っこであってほしいと校長先生は、願っています。』と。その後、各クラスで、「この場合の傘を差し出す」ってどんな意味だろう?と考えてもらいました。あるクラスでは、子どもたちの優しい行動が見られるたびに、先生が「傘を差し出してくれてありがとう」と声をかけておられました。このような温かい先生方に囲まれて学校経営ができる幸運を感じるとともに、優しい子どもたちとの生活に感謝の日々です。



12日(木)は、全校一斉に教育相談を行い、担任と子どもたちがゆっくり話す時間となりました。



愛のことば  
思いやりのことば  
これは聞いている  
あいても気持ちいい  
それを言っている人も気持ちいい

## プール開き(6/17) ~笑顔あふれる学校~



「校長先生、水着を買いました。早くプールしたいです。」と言う子がいたり、保護者の方からは、「プールが始まって、絶好調です。うちの子、楽しみにしています。」と言われたりしました。気温、水温、雷注意報、暑さ指数(wbgt)等々をもとに実施の判断をしながら安全第一で水泳指導をしていきます。毎朝、健康観察をしておりますが、さらに入念に確認をしております。保護者の皆さん、睡眠時間の確保、朝食の摂取等々、体調管理のご協力をお願いします。



校長のひとりごと

18日(水)は、山鹿市学校訪問でした。山鹿市教育委員会と菊池教育事務所(山鹿市担当)から8名訪問されました。皆さんのが言われたことは、①子どもたちの姿勢や声のよさ、②みんなが先生の話をきちんと聞こうとしていた、③自分の考えを素直に言っている、④担任が児童の学びの状況に合わせて工夫している等々でした。今後も子どもたちの学力向上に向けて、三玉小としての授業づくりに励んでいきます。